

Marubeni Digital Innovation Introduction

デジタル・イノベーション部のご紹介

Mission

丸紅グループの変革、DXを推進

DI部の役割1

人財開発と文化醸成による
変革の基盤を構築

事業創出

0→1

新規事業
開発・実証支援

事業再生

-10→+10

課題の特定と
解決による
既存事業改善

事業成長

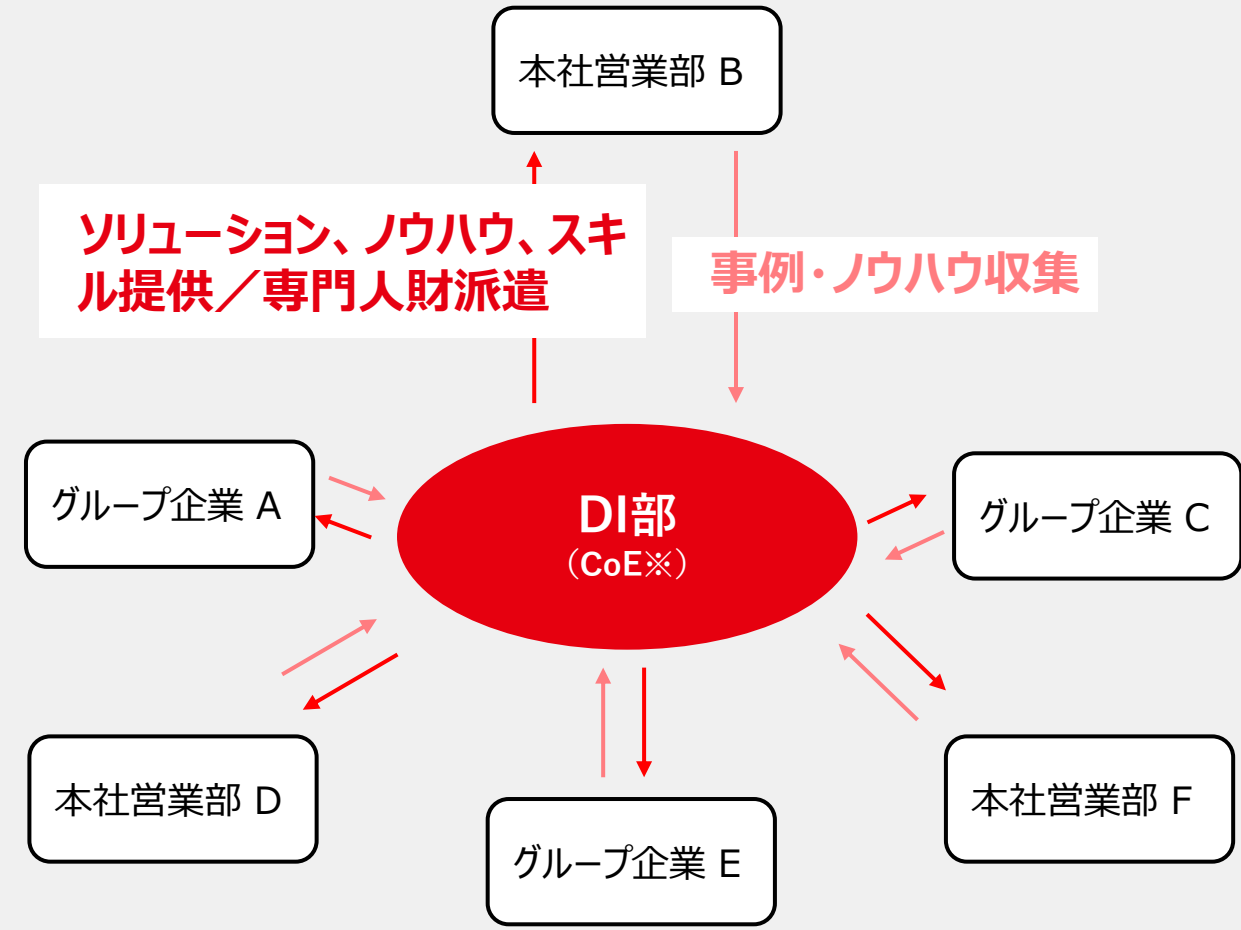
1→10→100

成長ポテンシャルの
洗い出しと
施策実施による
成長支援

DI部の役割2

「社内コンサル」として
事業創出・課題解決・成長支援

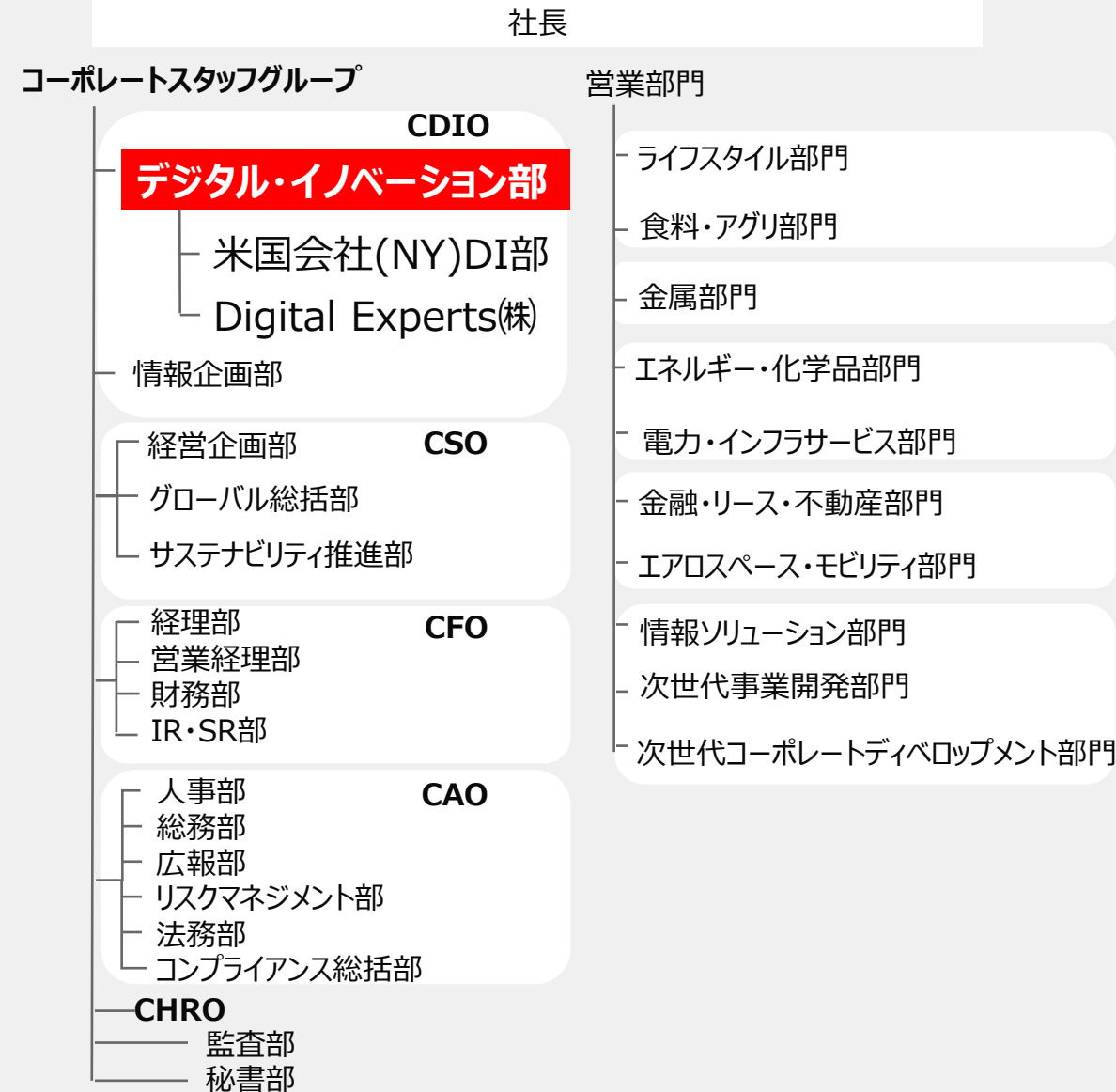
Value
専門人材を内製化し、
CoE(Center of Excellence)
として丸紅の変革・DXを実現



ハブとなって成功事例／失敗事例をノウハウとして蓄積・提供、専門人材を派遣

コーポレートスタッフグループの一員として、丸紅グループ全体の企業価値最大化に貢献

組織図



DI部の提供価値

デジタル技術の活用に必要な「機動力×丸紅力×専門性」を提供

機動力

- 契約・決裁不要で気軽に**相談・対応可能**
- **内製**により、小さく始めて**素早くPDCAを回す運用**を支援

丸紅力

- **丸紅グループの利益目標**で、常に営業部に必要なものを徹底的に検討
- 内部だからこそその目線で、不要なものは不要と整理
- 丸紅グループの組織・文化への理解、**知見の内部蓄積**

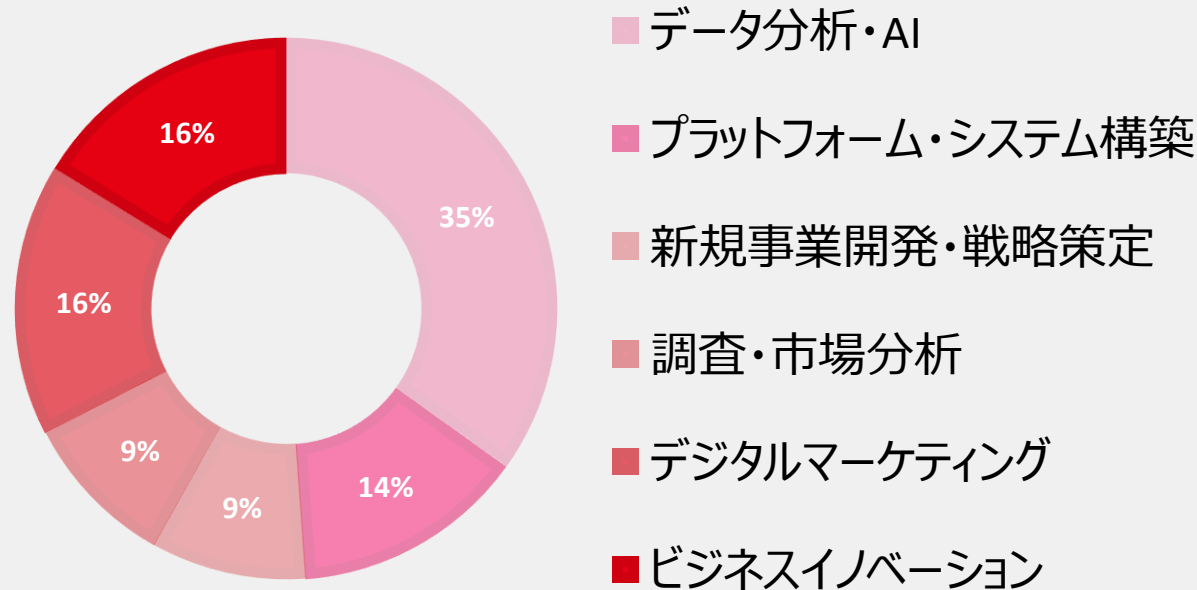
専門性

- AI・データ分析やマーケティング、プラットフォームといった**幅広い分野の専門家**

DI部の専門人財

幅広いビジネス課題を解決するための多様なアカデミック・キャリアバックグラウンドを持つ専門人財が東京とニューヨークの拠点に約40名在籍中

領域別人数構成



※複数の専門を持つ人財は各領域でカウント

専門人財のバックグラウンド例（一部抜粋）

- 大手外資系戦略コンサルティングファームにて食品・飲料、建設、通信のリーディングカンパニーの全社戦略立案、出資伴走支援
- 大手広告代理店でB2Cトップブランドの数十億円規模のデジタルマーケティング戦略立案、プロジェクトマネジメントをリード
- 理化学研究所客員研究員として産官学でのAIプロジェクトの立案やマネジメント
- 東京大学松尾研で人工知能の最先端研究に従事。大手金融機関との共同研究プロジェクトのリード、学生・社会人向けAI講座講師を担当
- 総合コンサルで製造大手のグループ再編/新会社設立を全社PMOとして主導、経営陣と現場を橋渡し

DI部の各施策・制度・プログラム

DI部の事業成長支援メニュー

既存事業の生産性改善、新規取り組みの立ち上げに必要な支援をDI部の各領域の専門人財が伴走



DI部の企業買収に関連する支援メニュー

企業買収案件の各フェーズ毎に必要な支援をDI部の各領域の専門人財が伴走



組織のDX・生産性改善支援

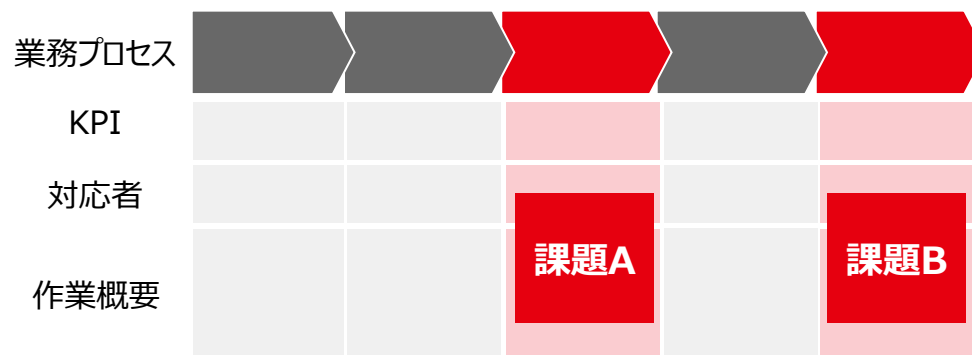
簡単なフレームワーク等を用いながら戦略や業務課題を可視化して、各施策の優先度や進め方を整理

使用シーン

- 壮大なテーマに聞こえる「DX」「生産性改善」に対して、まず何から手を付けて良いか分からない
- 業務に課題感はあるが、うまく言語化ができず、改善に向けた検討が進まない
- 取組事項や課題が多すぎて、優先度がつけられない、取り組んだ後の効果がわからない

DI部の機能

現状の業務プロセスを分解しながら、課題や目指すべき理想像を可視化



効果や実現難易度の観点で施策を評価し、実行すべき優先度や進め方を整理



初期調査

各営業部の事業創出・投資に関わる課題整理・検討に寄与する、簡易的な情報提供を実施

利用シーン

- 新たな地域での事業展開に向けて、現地の競合企業や提携先候補となる企業を複数確認したい。
- 既存事業の磨き込みとして周辺事業領域への出資を検討。その基礎となる市場情報（市場規模・成長性・魅力度等）を確認したい。

DI部の機能

企業のリストアップ

特定技術を持つスタートアップや、検討中の事業の競合企業の抽出（20社程度）

PitchBook | crunchbase | SPEEDA

市場調査

事業創出・投資に関わる、DI部が契約している有償情報DBを基にしたデスクトップ調査（市場規模やその動向、企業事例）及び、エキスパートインタビュー設計支援



EMIS
In, On and For Emerging Markets

株式会社 矢野経済研究所

VISASQ



GUIDEPOINT

論点設計・戦略策定

事業立ち上げや事業の方向性、新規企業買収検討段階において、論点設計ツール等のノウハウを活用し、事業の論点設計や調査情報の構造化・今後の方向性検討の壁打ちを行う

利用
シーン

- 事業立ち上げ・新規企業買収検討を任せられたが、何から始めればよいか考えたい
- 調査を実施したものの何が不足しているのかがわからず、第三者とディスカッションをしたい
- 事業を成長させるための有効な施策がわからない

DI部の
機能

論点設計・施策検討ツール提供



- 事業立ち上げや出資検討などでの検討項目をリスト化し、分析



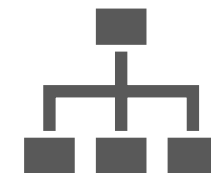
- 事業運営における業績向上のための施策を構造化・リスト化

ディスカッション



初期調査

- 簡単な初期調査や左記のツールを用いた論点設計や仮説構築の伴走



情報の構造化

- 情報を構造化し事業の方向性検討や実行のKGI/KPI設計等、目標設定のディスカッション

Tech DD (デジタル技術DD) / デジタル技術アドバイザー

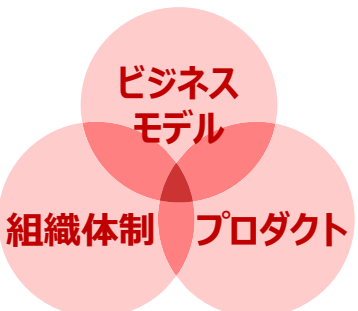
出資検討先等の技術面でのDD・協業に関する技術的アドバイス

利用シーン

- 買収を検討している会社のデジタル技術についての良し悪しの判断がつかない
- DDにおいてデジタル技術を見るうえでの観点がわからない
- デジタルスタートアップと協業するうえで技術的な会話に入ってほしい



DI部の機能

Tech DD (デジタル技術DD)



- 出資検討先の技術競争力の確認 (例: 技術差別化、業務×IT連携)
- ビジネスDD/ITDDと連携した推進
- AI、最適化、ERPなど幅広く対応

デジタル技術アドバイザー

CIO/CTO補佐	ベンダーマネジメント	PMO
 <ul style="list-style-type: none"> • IT/デジタル戦略策定・組織支援 • CIO/CTOサポート 	 <ul style="list-style-type: none"> • ベンダー選定/マネジメント • 技術的な内容の、翻訳”・助言 	 <ul style="list-style-type: none"> • デジタル/システムPJのPMO (構想～運用まで対応)

攻めのPMI

出資前におけるバリューアップ策の検討と出資後の実装支援（デジタル領域をメインとするがそれに限らない）

利用
シーン

- 出資提案の際に丸紅から出資先に提案できる施策を検討したい
- 出資後やクイックに実施できる生産性改善施策について考えたい
- ハンズオンで事業のデジタル実装の支援を行って欲しい

DI部の
機能

事業ポテンシャルチェック

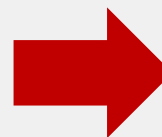


バリュードライバー
特定ツール



デジタル提案資料

- 事業のバリューアップに寄与する要素を特定し実行の優先順位付け
- 出資時のデジタルに関する提案、出資後のDX実行による効果推定、事業計画への織り込み



実行支援

- 特定したDX施策の実行を伴走支援し、対象会社の早期かつ確実なバリューアップを実現する

具体的な実施内容は
[デジタル技術アドバイザリー](#)や
[開発機能](#)等のデジタル全般の実行

デジチャレ

個人のデジタルスキルを深化し、丸紅の事業課題をデジタルで解決する基盤を作る

概要

特定の技術やテーマに関する実践型プログラム
これまでに約600人が参加

<これまで開催したコース例>

まるちゃ コース	まるちゃ（Marubeni Chatbot）の発展的な活用方法を習得するプログラム
ぱわぷら実践 コース	Power Automateの使い方を学び、業務改善を実践するプログラム
デジタル マーケティング	包括的にデジマスキルを学び、実践としてSNSアカウントの運用・改善を行うプログラム
データサイエン スコース	高度なAIや最適化のモデル・アルゴリズム構築を行い実ビジネス課題に取り組むプログラム

役割・提供価値

個人のデジタルスキル深化による
組織のDX推進の基盤構築

個人のデジタルスキルを深化

組織課題の解決へ導く個人のデジタルスキルを「理論的な理解」から「具体的・技術的な理解」へ深化



戦略・組織としてのDX深化

各会社・組織におけるデジタル化の牽引役へ成長
デジタルに関する取引先・パートナーを当社主導で動かす

領域別事例紹介

AI・データ分析

統計解析・機械学習・数理最適化の三分野でモデル構築を内製化

分析	画像解析	<ul style="list-style-type: none"> 水産物をカメラ画像で等級判別するモデルを作成 屋根の画像から寸法を測るツールを作成し、太陽光パネル配置をシミュレーション
	自然言語処理	<ul style="list-style-type: none"> メールから必要な情報を抽出するモデルを作成
予測	需要予測	<ul style="list-style-type: none"> 電力、書籍、菓子等の需要予測モデルを構築
	市況予測	<ul style="list-style-type: none"> 電力価格予測・分析するモデルを構築
	異常検知	<ul style="list-style-type: none"> 設備や機械の正常・異常を判別 異常原因や故障を予測するモデルを作成
最適化	ルート最適化	<ul style="list-style-type: none"> 配送計画、配船計画など個別仕様に応じた最適化モデルを構築
	配車・充電最適化	<ul style="list-style-type: none"> 業務用車両管理サービス開発のため、EV配車・充電タイミング最適化モデルを構築
	入札最適化	<ul style="list-style-type: none"> 系統用蓄電池の効果的な運用のため、最適化計算に基づく入札カーブ作成モデルを構築
	在庫最適化	<ul style="list-style-type: none"> 自動発注システム導入に向けた効果試算

生成AIの活用推進

Marubeni Chatbotの展開やAIエージェントの構築を通じて、生成AIによる業務効率化・高度化を推進

Marubeni Chatbot

- 全グループ会社で利用可能な生成AIアプリケーション
- 利用者の声を迅速に反映、最新AIモデルは即搭載



まるちゃ1つで全部できる！

画像
生成

AI
チャット

議事録
作成

ファイル
翻訳

市場
調査

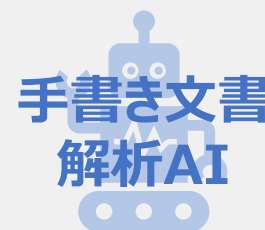
Box
連携

カスタム
エージェント

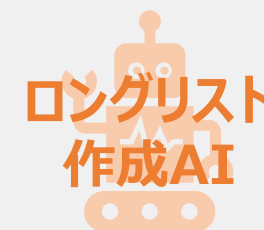
AIエージェント

- 個別の業務課題に対しては専用のAIエージェントを構築
- 生成AI以外の技術も活用し、最適なソリューションを提供

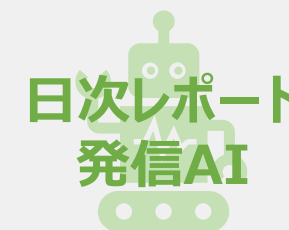
(例)



生成AI×OCR



生成AIの並列稼働



生成AI×RPA

丸紅グループ内の生成AIユーザーは約130社・15,000人！AIエージェントの構築数は700件以上！

※ 2025年6月時点

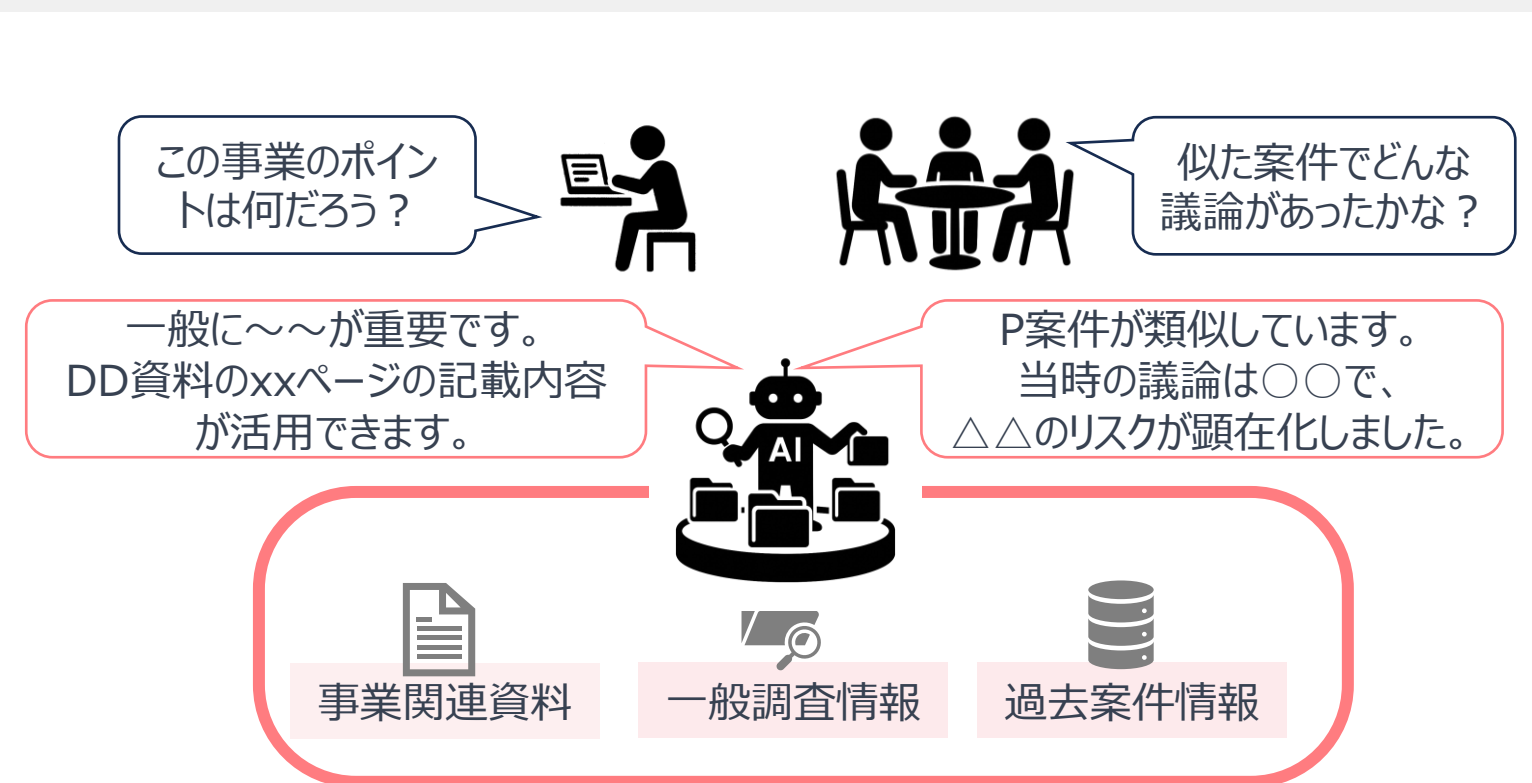
投資精度向上のためのAI活用

要検討点や予見されるリスクをAIが提示。人間が重要論点の深掘りに集中できるよう、AIがサポート。

利用シーン

- プロジェクトの申請書の作成で必要な内容を漏れなく記載したい
- 大量にある情報を効率よく申請書に落とし込みたい
- 過去事例を参照して必要な論点や予見できるリスクを確認したい

利用イメージ



デジタルマーケティング

デジタルを起点としたマーケティング支援

集客	広告施策	<ul style="list-style-type: none"> オンライン広告、オフライン広告の施策設計、実行支援
	SNS	<ul style="list-style-type: none"> SNSアカウントの立ち上げ、コンセプト策定、コンテンツ制作、広告配信
	検索エンジン最適化	<ul style="list-style-type: none"> SEO、GEO、MEOなどの各種検索エンジン最適化
接客	営業支援	<ul style="list-style-type: none"> 営業代行体制構築、営業資料、営業ツール制作
	ECサイト	<ul style="list-style-type: none"> Amazon・楽天などECモール、自社ECに関わる施策設計、実行
	サイト制作	<ul style="list-style-type: none"> 企業サイト、サービスサイト、キャンペーンサイトなどの制作
継続支援	UI/UX改善	<ul style="list-style-type: none"> UI/UX改善によるユーザー満足度・CV率の向上、離脱率の低下、リピートの促進
	CRM・MA	<ul style="list-style-type: none"> CRM・MA施策の企画・実行、KPI管理・ダッシュボード運用
	カスタマーサクセス	<ul style="list-style-type: none"> 問い合わせ対応・チャットボットの構築、FAQ・トラブルシューティングの整備

プラットフォーム/ITサービス

プラットフォーム/ITサービスの検討から運用まで、全フェーズを幅広く支援

検討	戦略整合	<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略や部門目標とプロジェクトの整合、経営インパクト・技術的実現性を踏まえたプロジェクト群の優先順位付け・リソース配分
	要件整理	<ul style="list-style-type: none"> システム開発・導入における課題、構成整理
構築	RFP/RFI作成	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォームやSaaS導入に関するRFP/RFI作成
	ベンダー コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 開発ベンダー選定・評価、ベンダーとのコミュニケーション支援
運用	実行力強化	<ul style="list-style-type: none"> DX施策やITプロジェクトの計画立案、課題整理、進捗管理、関係者調整等の実務オペレーションをハンズオン支援
	統治強化	<ul style="list-style-type: none"> 各プロジェクトの進め方や成果物の品質に対するレビューの実施

事例①：生成AIアプリケーション「Marubeni Chatbot」

丸紅グループ専用の生成AIアプリケーション「Marubeni Chatbot」を内製し、ガイドライン策定・勉強会開催を通じた全社的な生成AI活用を推進

概要

- 様々なLLMを利用でき、社内の様々なニーズに応じた機能を搭載する**丸紅グループ専用**の生成AIアプリケーション「Marubeni Chatbot」を**内製**
- 並行して生成AI勉強会の開催やガイドライン策定により、**全社的な生成AI活用環境**の整備を推進
- 利用者は国内外**10,000名**を超え、アイデア出し、翻訳、議事録作成などの業務効率化に貢献。

詳細

Q Marubeni Chatbot

利用可能なアプリケーション

<p>Smart Chat</p> <p><small>GPT-4o、Claude3 Opus、Geminiなど、複数のモデルから自由に選択して生成AIとのチャットを行います。画像入力・出力も自由に行えます。</small></p>	<p>File-Chat (GPT-4)</p> <p><small>このBotでは、チャット形式でファイル(pdf, docx, csv, xlsx, pptx)の情報を効率的に抽出することが可能です。</small></p>	<p>(ベータ版) 翻訳ツール</p> <p><small>(注意：本Botはベータ版です。不具合報告お待ちしております) 様々な翻訳ツールを使用して、気軽に翻訳を行うことができます。</small></p>
<p>(ベータ版) 会議文字起こし</p> <p><small>(注意：本Botはベータ版ですので不具合が予想されます。発見した際にはご連絡ください。) 会議の音声や動画ファイルを入力することで、会議音声の文字起こし・議事録作成を行うことができます。文字起こしには最大1時間程度要する可能性があります。</small></p>		
<p>カスタムボット</p>		
<p>決済手続き関連FAQ</p> <p><small>部内決裁の承認フロー、準備事項、よくある質問についてまとめたもの</small></p>	<p>商品カテゴリ推定Bot</p> <p><small>登録データに基づき、入力内容の商品カテゴリを推定します。</small></p>	<p>DI部FAQ</p> <p><small>DI部によく来る質問、相談とその回答。</small></p>

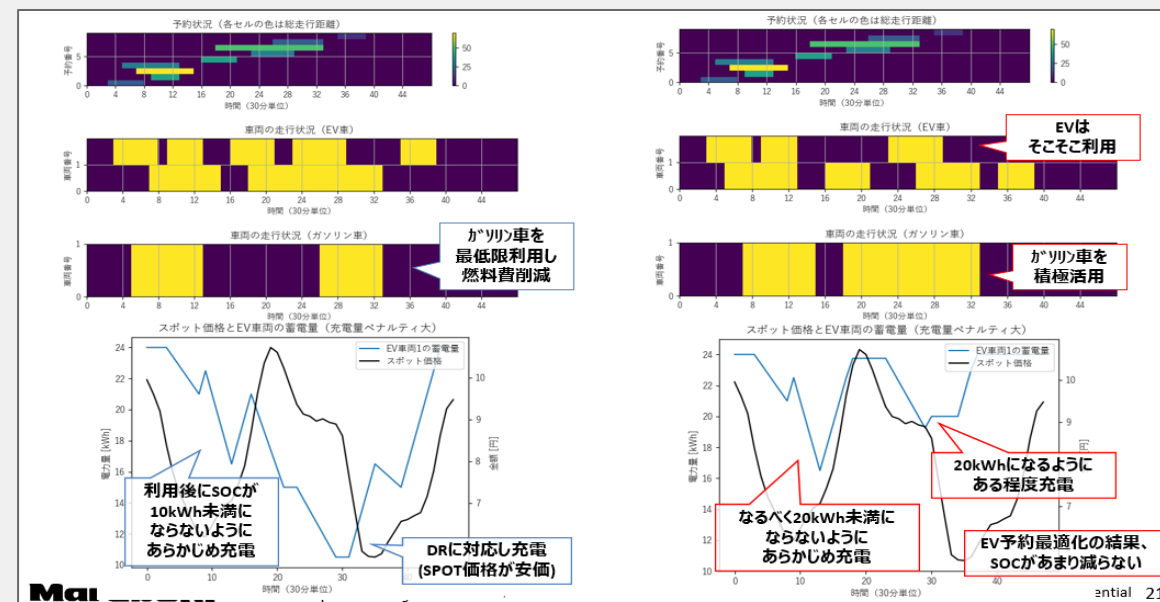
事例②：EV充電タイミング・配車最適化

EVの配車と充電タイミングを最適化する車両管理サービスの開発にあたり、数理最適化アルゴリズム、WEBアプリケーションを内製。実証実験から、商用システムの開発まで一貫して支援中

概要

- 数理最適化アルゴリズム、WEBアプリケーションを内製
- EVの配車と充電タイミングを最適化する**車両管理サービス**を開発
- 実証実験を経て、**商用システムの開発**まで支援中

詳細



事例③：顔認証決済プラットフォーム

鉄道・バス運賃決済や周辺施設に利用する顔認証PFの事業化検討からサービス設計・システム開発まで支援

概要

- 鉄道・バス運賃決済や周辺施設に利用する**顔認証PF**の事業化検討。
- 顔認証PFのサービス設計・**システム開発**を支援
- DI部では、顔認証AI・システム開発の知見に基づく技術支援、有識者インタビュー等を通じた**サービス設計支援**を実施。

詳細

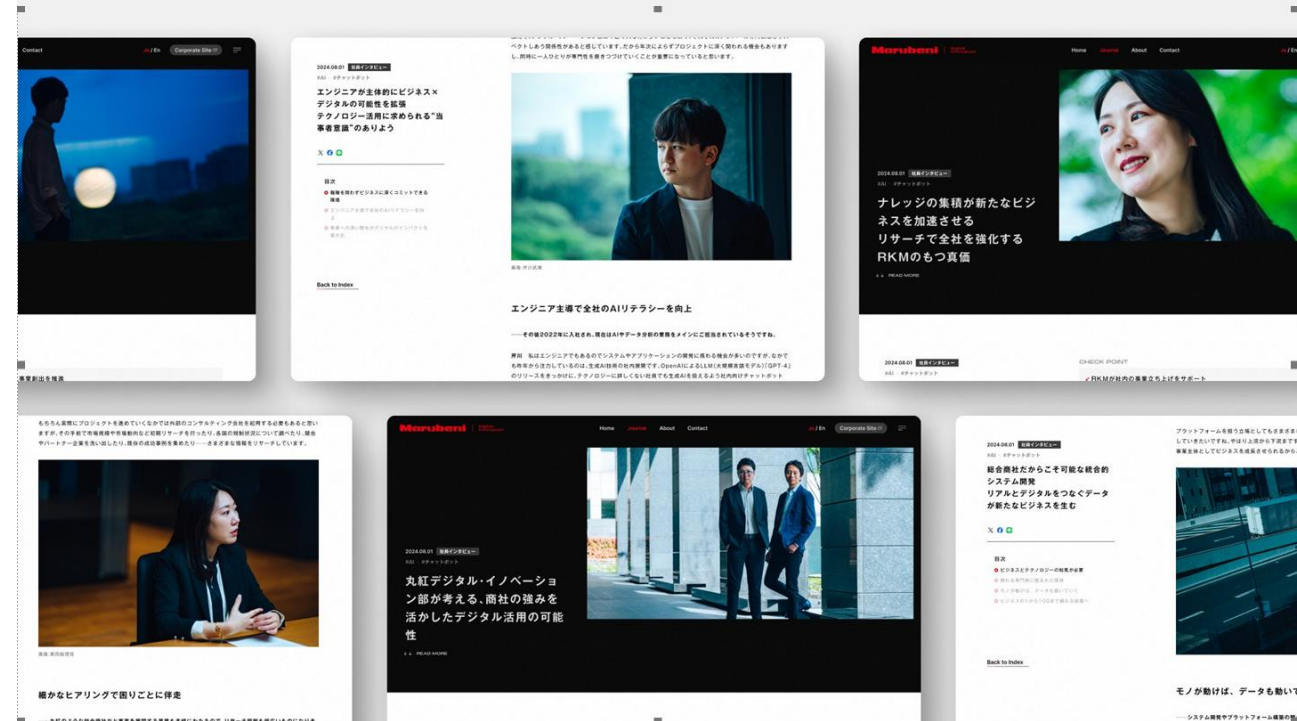


運賃支払い時には、手ぶらで認証用のタブレットをのぞき込むだけです

その他多数の支援実績あり。
丸紅デジタル・イノベーションの
WEBサイトでも発信中。

⇒ 丸紅のDXへの取組み

※秘密保持の観点から、外部公開不可の案件も多数あります。
是非丸紅に入社して、その幅広さを体感してください



最後に

みなさんと共に

丸紅グループの変革・DXに

挑戦できることを楽しみにしています